

コース	たんき りゅうがく 短期留学プログラム		
授業科目名	たぶんか 多文化コミュニケーション2		
対象学生	たんき 短期留学プログラム生	たんい すう 単位数	たんい 2単位
授業の概要	<p>多文化(異文化)コミュニケーションのゴールは、多文化共生、多種多様な文化の平和的な共存である。しかし、国境を越えて多面的な交流が急速に進む今日のグローバル化時代においては、文化の画一化と、社会の二分化が深刻な問題として指摘されている。</p> <p>この授業では、グローバル化を概観すると同時に、異文化コミュニケーションが文化の衝突を回避し、多様な文化の維持とその共存を可能にし、より平和な世界を構築するために果たすその役割と可能性について探求する。</p> <p>グローバル化時代には、異なる価値観や世界観を互いに理解し、認め合い、互いが協力して諸問題を解決し、仕事を組み立てられる人材が求められており、分野を超えて、そのような人材育成は急務な課題である。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバリゼーション、国際化、グローカリゼーションに関する言葉の定義、概念、理論、など説明できるようになること。 2. 日常生活の中で、授業で学んだことを意識、あるいは実践してみること。 3. 国内外、特に海外のニュースに目を向け、異なる立場から発せられるメッセージ、そしてその背景を理解できるようになること。 4. 世界の紛争の背景、多文化共生の取組について考察する能力を身に付けること。 		
授業内容	<p>第1回:オリエンテーション:科目概要、評価方法説明</p> <p>第2回:グローバリゼーションの定義</p> <p>第3回:グローバリゼーションのメリットとデメリット</p> <p>第4回:グローバリゼーション:画一化と多様性 ①</p> <p>第5回:グローバリゼーション:画一化と多様性 ②</p> <p>第6回:グローバリゼーション:社会の二分化</p> <p>第7回:グローカリゼーション</p> <p>第8回:＝中間試験＝</p> <p>第9回:文明の衝突?</p> <p>第10回:文化対立:民族紛争</p> <p>第11回:文化対立:宗教対立</p> <p>第12回:多文化共生への試み:Current Issues In the World</p> <p>第13回:多文化共生への試み:Current Issues In the World</p> <p>第14回:プレゼンテーション①</p> <p>第15回:プレゼンテーション②</p>		
授業形式	講義、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション		
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 5回以上欠席の場合、不可。 2. 中間試験:30点 3. プレゼンテーション:30点 4. 期末試験【エッセイ】:40点 5. 上記2～4の合計100点を満点とする。質問、発言等の授業への積極参加は加点対象とする。授業への貢献度に応じて評価する。 		
教科書	シリウ ハイフ 資料を配付する		
その他			